

主日礼拝

2021年12月12日
午前10時30分

前奏

参集 (報告・紹介・予定)

招詞

「あなたたちが待望している主は
突如、その聖所に来られる。

あなたたちが喜びとしている契約の使者

見よ、彼が来る、と万軍の主は言われる。」

マラキ 3:1 (讚美歌 21-14)

点火 242-3

「主を待ち望むアドヴェント」3節

1.~4. しゆを まちのぞむ アドヴェント

3. だいらんのろうそくともそうしゆのめぐみてり

か が や き く ら や み を て ら す

1.~4. しゆのたみよよろこべしゆはちかい

祈祷

献金 献金箱が受付に置いてありますので、
礼拝前にお献げください。

主の祈り

天にまします我らの父よ、

ねがわくは み名をあげめさせたまえ。

み国を来らせたまえ。

みこころの天になるごとく

地にもなさせたまえ。

我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。

我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、

我らの罪をもゆるしたまえ。

我らをこころみにあわせず、

悪より救い出したまえ。

国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの
なればなり。

アーメン。

闇の中を歩む民は、大いなる光を見
死の陰の地に住む者の上に、光が輝いた。
あなたは深い喜びと

大きな楽しみをお与えになり

人々は御前に喜び祝った。

刈り入れの時を祝うように

戦利品を分け合って楽しむように。

彼らの負う軛、肩を打つ杖、虐げる者の鞭を

あなたはミディアンの日のように

折ってくださった。

地を踏み鳴らした兵士の靴

血にまみれた軍服はことごとく

火に投げ込まれ、焼き尽くされた。

ひとりのみどりごがわたしたちのために生まれた。

ひとりの男の子がわたしたちに与えられた。

権威が彼の肩にある。

その名は、「驚くべき指導者、力ある神

永遠の父、平和の君」と唱えられる。

ダビデの王座とその王国に権威は増し

平和は絶えることがない。

王国は正義と恵みの業によって

今もそしてとこしえに、立てられ支えられる。

万軍の主の熱意がこれを成し遂げる。

聖書 マタイによる福音書 2:1~12 新約 (新共同訳) p2

イエスは、ヘロデ王の時代にユダヤのベツレヘムでお
生まれになった。そのとき、占星術の学者たちが東の
方からエルサレムに来て、言った。「ユダヤ人の王と
してお生まれになった方は、どこにおられますか。わ
たしたちは東方でその方の星を見たので、拝みに来た
のです。」これを聞いて、ヘロデ王は不安を抱いた。
エルサレムの人々も皆、同様であった。王は民の祭司
長たちや律法学者たちを皆集めて、メシアはどこに生
まれることになっているのかと問いただした。彼らは
言った。「ユダヤのベツレヘムです。預言者がこう書
いています。

『ユダの地、ベツレヘムよ、

お前はユダの指導者たちの中で

決していちばん小さいものではない。

お前から指導者が現れ、

わたしの民イスラエルの牧者となるからである。』」

そこで、ヘロデは占星術の学者たちをひそかに呼び寄
せ、星の現れた時期を確かめた。そして、「行って、
その子のことを詳しく調べ、見つかったら知らせてく
れ。わたしも行って拝もう」と言ってベツレヘムへ送
り出した。彼らが王の言葉を聞いて出かけると、東方
で見た星が先立って進み、ついに幼子のいる場所の上
に止まった。学者たちはその星を見て喜びにあふれた。

家に入ってみると、幼子は母マリアと共におられた。彼らはひれ伏して幼子を拝み、宝の箱を開けて、黄金、乳香、没薬を贈り物として献げた。ところが、「ヘロデのところへ帰るな」と夢でお告げがあったので、別の道を通って自分たちの国へ帰って行った。

賛美 255 (1,2,4) 「生けるものすべて」

Στην αὐτὴν εὐαγγέλιον
詞：聖ヤコブ典礼

FIGARDY
曲：フランス・キャロル、17世紀

① 生けるものすべての
② 主のこしえのいのちのすまひさべで
③ たえなまのきさかんりどり
④ せいのすまひさべで

おそりてしりずま
れアきかよせりう
そらつみかいははう
くみつかにせはう
みうせみえかをを
ううせいになるを
せうせいになるを
ううせいになるを

みえかをを
ううせいになるを
せうせいになるを
ううせいになるを

かそよのみのみか子らはだうまたれたも
いのみみかちからはだらうあやほ
いのみみかちからはだらうあやほ

ひつとみのすのがたにても
みつとみのすのがたにても

説教 「王の中の王=幼子イエス」

賛美 ソプラノ：大城 薫

ハンデルの「メサイア」第19曲 レチタティーヴォ
そのとき、見えない者の目が開き、
そして、聞こえない者の耳が開く。
そのとき、歩けなかった者は雄鹿のように飛び
跳ね、そして、口のきけなかった者は喜び歌う。
(イザヤ書 35:5-6)

ハンデルの「メサイア」第20曲 アリア
主は羊飼いのように人々の群れを養い、
御腕をもって小羊を集め、そのふところに抱き、
その母をやさしく導く。(イザヤ書 40:11)
疲れた者、重荷を負った者は、誰でも彼のもと
に来なさい。彼が休ませて下さるから。
彼のくびき轡を負い、彼に学びなさい。彼は柔和で
へりくだった方だから。そうすれば、あなたがた
は魂の安らぎを得ることができるのだ。
(マタイ 11:28-29)

リタニー 「ようこそイエスさま」

司式者：どんなに世界が闇に閉ざされても、
切り株から、いのちの芽がふきだすように、
イエスさまは来られるのだと、預言者イザヤは
告げました。
みんな：ようこそイエスさま、わたしたちの救い主、
お待ちしていました。

司式者：神さまのひとり子が天の栄光の座を捨て、
わたしたちのもとへ来てくださる知らせに、
わたしたちの心は喜びおどります。
みんな：ようこそイエスさま、わたしたちの救い主、
お待ちしていました。
司式者：なんと幸いなことでしょう、主を迎える町は。
なんと幸いなことでしょう、主を宿す人は。
さあ、門を高く上げて、主をお迎えしましょう。
みんな：ようこそイエスさま、わたしたちの救い主、
お待ちしていました。

賛美 271(1,3,4) 「喜びはむねに」

Nyt riemutsen, nyt riemutsen
詞：Carl O. Rosenius, 1816-1868

SIBELIUS
曲：Jean Sibelius, 1865-1957

① よろこびはむねに
② かなしをばはらふ
③ かなしをばはらふ
④ よろこびはむねに

あまざりにおおきいこのめぐみよ
さうしててわだたしはと主をあらが
すべのひとびと主をあらが

かみひととりがここの世にうま
みなりも主しをれはぬかみいひと
はえののしをすかみいひと

わたいのきょうだいでなみられ
あたいのまなめぐしみはみお
うまぶねのなかにおおか

派遣

司式者 主は言われます。
「わたしは誰を遣わすべきか。」
会衆 わたしがここにおります。
わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン

アーメン アーメン アーメン

後奏

司式 佐々木 悠
説教 向井 希夫牧師
奏楽 福原 之織

※お立ちになるのが困難な方は、
座ったままで礼拝をお守り下さい。
※讚美歌の最後には、基本的に「アーメン」を付けません。